

オンライン音楽講義のご案内

学問としての音楽

～芸術家たちが見つめていたもの～

イデア・ミュージック・アカデミー/東海教室主任

日野 あゆみ

日頃は当アカデミーにあたたかなご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2月16日に開催しました、中西学院長による【第9回オンライン音楽講義】無事終了いたしました。古代ギリシアのピタゴラスが星々の調和を「ハルモニア」と呼んで以来、西洋の芸術は長い歴史の中でキリスト教と結びつき、ルネサンス時代に一気に花開きました。個性が尊重されるようになり、自由になった人間が向かった先はどのような世界であったのか。多くの貴重な資料とともに、今回はその移り変わりを学び深めていきました。ご参加くださった方々、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

次回は、第10回【文学と美術における象徴⇒シェイクスピアと絵画、ゴッホと文学（おいおい、逆やろ）】を下記の内容で開催いたします。全回の講義内容につきましては、別紙をご覧ください。なお、講義内容の順序は変更になる可能性がございます。あらかじめご了承ください。

記

1. 日時	第10回：2023年3月30日（木）午前10時30分～ 時間配分：講義1時間程度、ディスカッション 15分程度。 <u>※ディスカッションはアーカイブ配信いたしません。</u> ※第11回以降の日は、随時ホームページに掲載させていただきます。
2. 受講料	料金は一律 2,000円/1回 (現在、1ヶ月に1回のペースで、全12回を予定)
3. オンラインツール	Zoom
4. お申し込み・お問い合わせ	E-mail：idea.music.academy@gmail.com <u>氏名・メールアドレス・受講希望</u> をご記載の上ご連絡をお願い申し上げます。 ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。
5. 振込先	お申し込みいただいた後に、メールにてお伝えいたします。
6. 期日	・第10回 Zoom 申込締め切り 3月29日（水） ・第10回 アーカイブ 申込締め切り 第11回開催前日まで
7. アーカイブ配信	講義受講者及びアーカイブのみ申込者対象にYouTube限定公開

以上

学問としての音楽

～芸術家たちが見つめていたもの～

イデア・ミュージック・アカデミー/学院長
中西 誠

1. バッハの目線に立つて⇒
 - I：プラトンのイデア論（インヴェンションを通じて）
 - II：ピタゴラスの弦の分割論（平均律を通じて）
 - III：楽譜に隠された秘儀と象徴（マタイ受難曲を通じて）
2. 汚い音楽を書いたモーツァルト⇒モーツァルトに起きた作曲の危機（バッハとの比較）
3. ベートーヴェンが求めたもの⇒
 - I：ベートーヴェンの勉強部屋 ～師ネーフェからの教え～
 - II：交響曲第五番vs交響曲第六番
 - III：ベートーヴェンからの問いかけ
～シラー、カント、ヘルダーリン、ハイデガー、アドルノと交響曲第九番～
4. ミサについて⇒西洋音楽の本質中の本質であるミサについて（バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームス、フォーレの宗教曲）そして聖書
5. 芸術の変遷と時代背景⇒何故ハーモニーは崩壊したのか（絵画、文学に触れながら）
6. 文学と美術における象徴⇒シェイクスピアと絵画、ゴッホと文学（おいおい、逆やろ）
7. 実際の演奏とレッスンへの考察⇒世阿弥の無心への挑戦に学ぶ
8. 理想的な音楽教育を目指して～ネイガウスに倣って～⇒皆様と意見交換をしながら